

支援センターから感謝状

寄付型自販機で 犯罪被害者支援

バローHD、20店に設置へ

バローホールディングス（HD）は来年秋までに、売り上げの一部を犯罪被害者支援活動に充てる寄付型自動販売機を県内20店舗に1台ずつ設置する。この活動に対し、ぎふ犯罪被害者支援センター（岐阜市）は6日、多治見署でバローHDに感謝状を贈った。

設置するのは同社の県内のホームセンターとスーパーマーケット20店舗。飲料水を扱い、うち19店舗ではすでに稼働中で、来年秋の建て替え工事終了後に置くバロー多治見店（多治見市若松町）と合わせて20台となる。

同署で田口由紀男同センター専務理事がバローHDの瀬古征弘総務部長に感謝状を贈った。瀬古総務部長は「センターを広く知ってもらうために協力したい」と思いを語った。

犯罪被害者支援活動に充てる寄付型自動販売機には、犯罪被害に関する相談の問い合わせ先などが表示され、広報活動も担っている。同センター管内では、2017年の第1号以来、バローHDでの設置で計33台になる。

（稲木悠司）



田口由紀男専務理事から感謝状を受け取った
瀬古征弘総務部長（左）＝多治見署